



# とくしま 県議会だより

第105号【年4回発行】

令和2年5月17日

編集・発行／徳島県議会

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地

TEL.088-621-3010

FAX.088-655-2530

ホームページアドレス

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/gikai/>



## 県議会表彰式

令和2年2月19日、議場において県議会表彰式を開催し、スポーツや学芸部門の全国大会や世界大会で最優秀の成績を収めた個人35名と4団体の児童、生徒及び学生の皆さんに対し、喜多議長が表彰を行いました。



令和2年2月徳島県議会

## 定例会の概要

会期 2月12日～3月10日

開会日には、令和元年度2月補正予算と合わせて「14か月・県土強靱化加速予算」として編成された令和2年度当初予算などが提案され、新たな総合戦略の策定、新型コロナウイルス感染症対策などの重要課題について、所信が述べられました。

さらに、閉会日には、新型コロナウイルス感染症・緊急対策補正予算が追加提案されました。

代表・一般質問では、新たな総合戦略による地方創生の推進、人口減少対策、新型コロナウイルス感染症への対応、消防団の活性化や災害時の食糧確保対策等の防災・減災対策、地域医療構想の実現や病院の医療機能強化等の医療施策、放課後児童クラブの充実や子どもの居場所づくり等の児童福祉施策、県産農林水産物の情報発信戦略、阿波おどりの世界展開による誘客促進等の観光振興策などについて論議しました。

今定例会では、「徳島県交通安全の推進に関する条例」の制定、委員会条例の一部改正及び意見書2件を議員提出し、可決しました。また、知事提出議案99件を原案どおり可決・同意し、請願2件を採択しました。



第94代議長  
寺井正邇(てらいしやうじ)

阿波選挙区(当選4回)72歳

【略歴】

副議長、議会運営委員長などを歴任



第105代副議長  
岡田理絵(おかだりえ)

鳴門選挙区(当選4回)54歳

【略歴】

総務委員長、議会運営委員長などを歴任

正副議長選挙が行われ、議長に寺井正邇議員、副議長に岡田理絵議員が選ばれました。



## 新正副議長紹介

## 主な審議の結果

### ●可決・同意された議案

○令和2年度当初予算

- ・一般会計(1件) / 当初予算額は5,056億8,300万円で、前年度比102.2%
- ・特別会計(20件)
- ・企業会計(6件)

○令和元年度補正予算

- ・一般会計(4件) / 補正予算額は266億4,552万5千円の増額及び252億8,514万8千円の減額で、補正後の予算は、5,093億3,472万3千円
- ・特別会計(20件)
- ・企業会計(4件)

○条例の制定(2件)

- ・徳島県交通安全の推進に関する条例(議員提出)
- ・徳島県次世代はぐくみ未来創造基金条例

○条例の改正(32件)

- ・徳島県議会委員会条例の一部改正(議員提出)
- ・徳島県南海トラフ巨大地震等に係る震災に強い社会づくり条例の一部改正 など

○負担金案件(2件) ○契約案件(2件)

○人事案件(2件) ○その他(6件)

### ●可決された意見書(2件)

- ・所得税法第56条の見直しを求める意見書
- ・女性差別撤廃条約選択議定書の批准にむけてのすみやかな検討を求める意見書

### ●採択された請願(2件)

- ・家族従業者の働き分を認めない所得税法第56条の見直しについて
- ・女性差別撤廃条約選択議定書の批准にむけてのすみやかな検討について

# 代表・一般質問から

主な質問とこれに対する知事や関係部局の答弁の趣旨は次のとおりです。所属会派は質問時点での表記です。

知事の答弁 関係部局の答弁

## 代表質問

### 巨大災害に対し、国とともに本音・本気で対応を

にしざわ きさろう

(徳島県議会自由民主党)



**問** 全国知事会長として、国と責任を共有する「より一層行動する知事会」を表明したが、南海トラフ巨大地震などの巨大災害に対する本音・本気度は。

**答** 昨年の台風第19号では、緊急広域災害対策本部を制度化後初めて設置。知事会を挙げて支援した。また、被災地のニーズを集約し、政府・与党や総理へ直接、緊急要望を行った。

**問** 大規模災害発生時の食糧確保の観点から、被災地域で早期に営農を再開するため、平時から作りやすい作物や有機農業を取り入れるとともに、野生鳥獣害対策に取り組むべき。

**答** 地域のニーズを踏まえ、栽培管理等の支援を行う。また、AI等を用いた鳥獣の捕獲強化や、被害対策プログラムを作成し、効果的な防護を推進する。

**問** 気候変動は、今や世界的課題であり、人類の危機にもなる可能性がある。人口減少、災害列島の二つの国難に加えて、気候変動についても、全国をリードする対策を進めるべき。

**答** 新たに、危機管理環境部を創設し、気候変動適応センターを開設する。気候変動を危機事象と位置付け、我が国の気候変動対策をリードしていく。

### 今後の財政運営の基本スタンスは

寺井正邇

(徳島県議会自由民主党)



**問** 実質公債費比率の改善等、財政状況は厳しい局面から新しい局面に。14年ぶりに5000億円台となる令和2年度当初予算を新たな出発点に、今後、財政運営にどう臨むのか。

**答** 県債残高・財政調整的基金残高について、適正管理の段階に移行するなど、未来投資と健全財政とのバランスを図る新局面の財政運営を推進する。

**問** 日米貿易協定等により、牛肉・乳製品の輸入量が増加し、畜産業を取り巻く環境の変化は大きい。経済グローバル化に対応し、本県酪農・肉用牛生産の振興にどう取り組むのか。

**答** 県内唯一の乳業工場の整備の支援に加え、牛繁殖施設を整備し、搾乳用や優良肉用として育成する素牛の供給体制を構築する。

**問** 全国で水害が発生する中、議員連盟の会長として国等へ

無堤地区解消など治水対策を求めてきた。水害のないまちを創り上げるため、吉野川の治水対策にどう取り組むのか。

**答** 堤防の早期完成に向け、河道掘削で生じる残土活用に より築堤工事をスピードアップし、残る無堤地区の早期事業着手等を、国に働き掛ける。

### 徳島ー香港定期便の通年化に向けた意気込みは

臼木春夫

(新風とくしま)



**問** 香港情勢は抗議活動や新型コロナウイルスの影響もあり、今は逆風下にあるが、ピンチをチャンスに捉え、徳島ー香港定期便の通年化に向け、今こそ積極的に攻めるべき。意気込みは。

**答** 継続した取り組みの積み重ねが通年化への大きな弾みとなる。旅行業者をはじめ、政府関係機関とも連携し、通年化に向け全力で取り組む。

**問** スマートフォン(スマホ)の使用により、子どもの視力低下や学業への悪影響、いじめ、スマホ依存症等が懸念される。スマホによる健康被害や事件・事故を防ぐための取り組みは。

**答** 医療や法律、教育相談等の専門家からなる協議会を令和2年度早々に立ち上げ、総合的な対策を取りまとめて、児童生徒、保護者等に広く周知する。

**問** 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策や第2期を迎える地方創生の実現等、地

方の新たな課題に、全国知事会長として、どう取り組むのか。

**答** 感染症対策の緊急提言を実施し、政府の対応策にその多くが盛り込まれた。今後とも、地方創生第二幕に向け、新機軸の政策提言を打ち出す。

## 一般質問

### 県河川に監視カメラの設置を

山西国朗

(徳島県議会自由民主党)



**問** 近年の豪雨災害を踏まえ、危機管理型水位計が順次設置されている。これに加え、今後は5Gの時代であり、最新技術を駆使した河川監視カメラを設置すべき。

**答** 県管理の約50河川へ、危機管理型水位計を令和元年度末に設置して、令和2年度から、新世代の河川監視カメラを導入し、防災情報の充実を図る。

**問** ひきこもりや生活困窮者への支援は十分とは言えない。行政側が出向くアウトリーチ型(訪問型)支援が求められているが、今後、支援をどう強化していくのか。

**答** 出張相談窓口や、ひきこもり状態の方に対するサテライト相談拠点を設置。また、要支援者の状況に応じた就労体験、訓練先を開拓していく。

**問** 令和元年度は、3市町が先行してフレイル対策に取り組んでいるが、令和2年度は

さらに他の市町村へ横展開すべき。さらなる推進に向け、今後どう取り組むのか。

**答** 令和元年度から、3地域でのサポーター養成などフレイル予防作戦を展開。今後は、活動の見える化により、新たなモデル地域構築につなげる。

### 関係機関が連携し、効果的な家庭教育支援の取り組みを

井下泰憲

(徳島県議会自由民主党)



**問** 子どもの教育は、学校とともに、家庭が責任を持つことが重要。また、教育の様々な観点から関係機関の連携が必要である。より効果的な家庭教育支援にどう取り組むのか。

**答** 関係部局間の庁内ネットワークを整備するほか、保護者等が家庭教育について学べる機会を創出する。さらに、発達段階に応じて必要な情報の提供を行う。

**問** 地域の中核病院として、三好病院の役割は大きい。西部圏域における安全・安心の確保のため、地域の医療ニーズを踏まえ、さらなる医療機能の充実をどう取り組むのか。

**答** 令和2年度に、形成外科を新設するとともに、整形外科分野で人員体制を強化した新たなセンターを整備し、総合的な機能充実を図る。

**問** 本県の観光産業の成長産業化に向け、人材養成や施設助成等が必要と考える。観光客の受け入れ対策に、今後ど

う取り組むのか。

**答** 人づくりを行う「とくしま観光アカデミー(仮称)」の設置や、宿泊機能の強化に向けた改修支援に加え、インバウンド等をターゲットとしたホテルの新増設への助成制度の創設に取り組む。

### 県営新浜町団地の建て替えは、県内事業者を活用し木造で

岡 佑樹

(徳島県議会自由民主党)



**問** 県が整備する施設は、原則木造と義務付けており、木材の積極的な利用は、地域経済の活性化につながる。県営新浜町団地の建て替えは、県内事業者を活用し、木造で建設すべき。

**答** 設計コンペを通じて高度な技術導入を図る県内事業者の活躍の場を広げ、木造化により住宅セーフティネットとSDGsの実現に貢献する。

**問** 阿波藍の日本遺産認定など、藍への関心が高まる中、この好機を生かし、藍産業の振興につなげるには、土台となる藍の生産拡大が必要。今後どう取り組むのか。

**答** タデ藍生産セミナーの開催や日本初のタデ藍専用収穫機の導入支援等により、新規生産者参入や作業効率向上を促進し、生産拡大につなげる。

**問** 徳島化製事業協業組合に対する化製場衛生確保対策事業補助金の必要性と、令和2年度予算で前年比10%減額の理由は。また、臭いなどの環境対

策の内容と掛かった費用は。

**答** 畜産副産物の適正処理のため必要な事業と認識。減額は価格動向等の検討の結果。環境対策は立ち入り調査で改善を促す等、指導を行っている。

### 旧文化センター跡地の県有地の帰属について認識を問う

山田 豊

(日本共産党)



**問** 徳島市の資料では、旧文化センター跡地の県有地は、市へ無償譲渡する合意があったと見える。市と交わされたとされる無償譲渡の協定について、どう認識しているのか。

**答** 寺島川を埋め立てた当時から現在に至るまで、市から異論があったとの記録はなく、これまで、県が正當に所有してきたものと認識している。

**問** 脱炭素社会に向け、本県は水素エネルギー事業を促進しているが、二酸化炭素1トン当たりの削減コストを検証し、より経済的で費用対効果が高い取り組みを推進すべき。

**答** 水素は、用途拡大によりコスト低減が期待される有望なエネルギーであり、率先的・効果的に導入すると同時に、効果検証にも取り組んでいる。

**問** 新たな総合戦略で、大阪からの移住に注目とあるが、大阪は徳島より家計消費支出が少なく、賃金も高い。移住実現に向け、最低賃金の引き上げや全国一律化を発信すべき。

**答** 全国知事会で全国一律の最低賃金制度の実現や、労働者の処遇改善と事業者の経営基盤強化に向けた支援策の充実を、国へ提言している。

**南海トラフ巨大地震の死者ゼロを目指し、対策の再構築を**

**ながいけふみたけ**  
**長池文武**  
(新しい時代に新しい県政を創る会)



**問** 南海トラフ巨大地震の被害想定において、私の試算では、本県の死者数はまだ2万人である。この現状を認識し、本気で死者ゼロの実現に向けた取り組みを再構築すべき。

**答** 震災記憶を風化させない意識の醸成や、木造住宅耐震化率向上のための補助制度拡充など、自助・共助・公助が一体となった取り組みを進める。

**問** オリンピック憲章では、性的指向による差別を禁止するなど、LGBTに対する取り組みが世界的にも注目を集めている。県は、当事者の思いを受け止め、具体的に行動すべき。

**答** 性的マイノリティの方々に対する理解促進のため、県・市町村職員への研修や、人権教育啓発推進月間に各種イベントを実施する。

**問** 子ども食堂は、全ての子どもの居場所であり、誰もが自由に参加できる地域交流拠点でもある。子ども食堂をはじめとする子どもの居場所づくりの取り組みを強化すべき。

**答** フォーラムによる理解促進

を図るとともに、ユニバーサルカフェに子ども食堂機能を加える等により、県下全域に子どもの居場所を広げていく。

**阿波おどりを世界展開し、国内外からさらなる観光誘客を**

**たてかわのりひろ**  
**立川了大**  
(徳島県議会自由民主党)



**問** 海外での阿波おどりの普及拡大に努め、海外連が本場徳島で踊りを披露する機会を作らねば。また、海外連と連携した観光プロモーションを展開し、さらなる観光誘客を。

**答** 今秋、世界阿波おどりコンテストを開催する。交流を深めた海外連の皆様を橋渡し役としてグローバルに情報発信し、一層の誘客促進に取り組む。

**問** 建設業をはじめとする、ものづくり産業を担う後継者不足は深刻で、技能の伝承が途絶える危険がある。若い世代の関心を高め、技能者の育成のため、どう取り組むのか。

**答** 職業能力開発審議会のテクノスクール機能強化策の答申を踏まえ、令和2年度から、多能工の育成等により、優れた技能者を育成する。

**問** 地域における若者の就学・就業を促進し、地域活力の向上等を図る地方大学・地方産業創生事業のこれまでの取り組みと今後の事業展開は。

**答** 徳島大学に、光に関する研究所を設置し、光源開発、光人材育成等に取り組んでい

る。今後、研究成果の創出等により、光を求めて国内外から若者が徳島に集うべく展開する。

**中山間地域の活力を維持するため、新たな取り組みを**

**ますとみよしあき**  
**増富義明**  
(徳島県議会自由民主党)



**問** 急激に人口減少が進む中山間地域の活力を維持するため、特定地域づくり事業推進法が本年6月施行される。県として、どう取り組むのか。

**答** 新法のスキームを、市町村と情報共有してきた。今後、国や商工団体を交えた総合的な推進体制を早急に構築し、実践セミナーや課題解決の支援により、モデル事例創出を図る。

**問** 高齢化が進む中、高齢者の介護を担う介護職員の不足が、本県でも懸念される。介護人材の確保や定着に向け、今後どのように取り組むのか。

**答** 介護施設等に対する外国人留学生奨学金補助事業を新たに導入。また、人材育成や就労環境の改善など介護事業者の取り組みを見える化する。認証評価制度導入を検討する。

**問** 関西国際空港とのアクセスを含む四国新幹線の実現は、西日本全体に計り知れない効果をもたらすことが期待できると考えるが、実現に向けた、知事の意気込みは。

**答** 四国新幹線は未来投資であり、日本全体の活性化につながる起爆剤となる。実現に向

け、四国、関西の自治体や経済界と連携を強化し取り組む。

**今後一層重要性が増すSDGsの認知度向上を**

**なみこしけんいち**  
**浪越憲一**  
(無所属)



**問** SDGsは、世界共通のキーワードとして、その重要性は今後一層増していく。次代を担う若者をはじめ、県民の認知度向上に向け、どう取り組むのか。

**答** 勉強会開催や実践事例の発信など普及啓発に取り組む。また、高校生・大学生とSDGsをテーマに意見交換し、関心や理解を深めてもらう。

**問** 生徒数の減少等により、運動部活動の継続が困難な中学校がある。運動部活動を取り巻く課題に対し、地域の実態に合わせ、どのように取り組むのか。

**答** 学校や地域の実情に合わせ、合同チームやクラブチームでの大会参加の例もある。児童生徒のニーズに応じたスポーツ環境の整備に努める。

**問** 昨年開催された「にし阿波の花火」は、地域の活性化に大きな効果があった。観光消費額の増加に向け、ナイトイベントの創出と、受け皿となる宿泊機能を強化すべき。

**答** ナイトイベント等のコンテンツや収容能力を高めた施設での宿泊に加え、食などを組み込んだ旅行商品を造成

し、観光消費額の増加を図る。

**地域を支える魅力的な仕事づくりを**

**よしだますこ**  
**吉田益子**  
(みどり徳島)



**問** 人口減少を最小限に食い止めるため、若者に徳島にとどまってもらえる仕事を作ることが重要。地域を支える魅力的な仕事づくりを今後どう展開するのか。

**答** 次世代LEDによる光関連産業の活性化と就学・就業機会の創出、起業家の育成など、本県経済の活性化を図り、魅力ある雇用を創出する。

**問** 脱炭素社会の実現に向け、これまでの県の積極的な取り組みを、県民あげての運動に広げるため、気候非常事態宣言を出してはどうか。

**答** 全国に先駆け、脱炭素社会の実現を掲げた「すだちくん未来の地球条例」が、まさに気候非常事態宣言であると言え、今後とも、危機感を持ち、気候変動対策に取り組む。

**問** 自然エネルギーの推進は地方創生のチャンスである。自然エネルギーを地域経済に生かすには、地域住民や地元企業が出資することが大事だが、今後どう取り組むのか。

**答** 産学官金連携のプロジェクトチームで、地元事業者の自然エネルギー関連事業の立ち上げ支援等に取り組む。環境と経済の好循環を創出する。

**議会トピックス**

● 県議会の全会派が、知事に対し、令和2年度当初予算において、県土強靱化、高速道路整備、農林水産業の競争力強化などに必要な公共事業予算をしっかりと確保するよう要望を行いました。  
(1月9日)

● 協町高校及び徳島科学技術高校において、高校生と議員との意見交換会を開催し、生徒からは、地域の課題や政治への関わり等について意見が出され、参加した議員と活発な議論が交わされました。  
(1月21日、22日)

● 徳島文理大学との包括連携協定に基づく事業として、大学生と議員が「地方議会への関心を高めるには」をテーマに意見交換を行いました。  
(1月28日)

● 議決対象とした「未知への挑戦」とくしま行動計画(変更案)について、全議員勉強会を開催しました。  
(2月20日)

**議員連盟の活動**

● 水産振興議員連盟が、安全性と冷却効率を高めた徳島県漁業組合連合会の冷凍施設を視察し、同連合会と豊かな海づくりに関する取り組み等について意見交換を行いました。  
(1月22日)

● 農業振興議員連盟が、勝浦町役場において、生産者、JA及び勝浦町と意見交換を行い、JA東とくしまのよってネ市と生比奈支所選果場を視察しました。  
(1月23日)

● 四国県議会防衛議員連盟の集い本県で開催し、令和2年度に「四国防衛議員連盟仮称」を設立することを決定しました。  
(1月25日)

● 北朝鮮日本人拉致問題早期解決促進議員連盟が、拉致問題啓発舞台劇公演に出席しました。  
(1月28日)

● 畜産振興議員連盟が、徳島県畜産関係団体懇話会と畜産業界の現状や課題等について、意見交換を行いました。  
(1月28日)

● 四国横断自動車道・阿南安芸自動車道建設促進議員連盟が、徳島県と合同で、国土交通大臣等に対し、四国横断自動車道及び阿南安芸自動車道の早期整備について要望を行いました。  
(1月29日)

● 医療・福祉関係議員連盟が、糖尿病の早期発見の重要性について、勉強会を開催しました。  
(1月30日)

● 観光振興議員連盟が、知事等に対し、三好長慶の大河ドラマ化をはじめ、映画やテレビドラマのロケ地の誘致など、観光振興に関する要望を行いました。  
(2月20日)

● 徳島自動車道整備促進議員連盟が、徳島県及び徳島自動車道四車線化促進期成同盟会と合同で、西日本高速道路株式会社に対し、徳島自動車道の早期4車線化に向けた要望を行いました。  
(2月21日)

**用語解説**

※1【フレイル】

加齢に伴い心身の活力が低下し、入院や要介護の危険性が高まる状態。

※3【ユニバーサルカフェ】

子どもや高齢者、障がい者など、多くの方々が集い、それぞれが持つ悩みや経験を共有し、互いに支え・支えられる関係性を構築する福祉拠点。

※2【住宅セーフティネット】

低額所得者、被災者、高齢者、障がい者、子育て世帯等、住宅の確保に特に配慮を要する方々が、それぞれの所得、家族構成、身体状況等に適した住宅を取得できるような居住の安定の確保につながる仕組み。

※4【SDGs(エスディーゼズ)：持続可能な開発目標】

2015年9月の国連サミットで採択され、加盟193カ国が2030年までに達成するために掲げた目標。持続可能な世界を実現するため、貧困撲滅や男女平等、気候変動対策など17のゴール(目標)、169のターゲットから構成。

# 2月定例会委員会の概要

## 常任委員会

## 特別委員会

### ● 総務委員会

東京 2020 オリンピック聖火リレー時の警備、児童虐待防止に向けた児童相談所の体制整備、新型コロナウイルス感染症対策に係る予算措置、データ分析や客観的根拠に基づく人口減少対策などについて質疑及び提言がありました。

### ● 経済委員会

新型コロナウイルス感染症対策に関し、とくしまマラソンの対応や中小・小規模事業者支援等、また、外国人労働者への支援策、棚田地域の振興、次期農林水産基本計画に基づく施策展開などについて質疑及び提言がありました。

### ● 地方創生対策特別委員会

新型コロナウイルス感染拡大による県内経済への影響と支援策、テレワークの状況、総合戦略の成果と今後の方向性、ターンテーブルの活用、過疎地域における県管理道路の整備促進などについて質疑及び提言がありました。

### ● 次世代人材育成・少子高齢化対策特別委員会

新型コロナウイルス感染症に係る小学校等の臨時休業に関し、県内学校の状況、子供及び保護者への対応、企業への対応策等、また、同感染症対策における県の情報発信の仕方などについて質疑及び提言がありました。

### ● 文教厚生委員会

新型コロナウイルス感染症対策に関し、学校における感染防止対策や臨時休業要請への対応、検査機関でのウイルス検査体制の強化等、また、学校へのスクールソーシャルワーカーの配置などについて質疑及び提言がありました。

### ● 県土整備委員会

旧徳島市文化センター跡地の県有地に係る対応、DMV導入事業、那賀川上流の河川環境改善に向けた取り組み、危機管理の視点での新型コロナウイルス感染症への対応などについて質疑及び提言がありました。

### ● 防災対策特別委員会

新型コロナウイルス感染症対策に関し、マスク等の備蓄状況、クルーズ船から下船された方の検査状況及び行動把握等、また、吉野川の治水対策、ハイパー消防団員制度などについて質疑及び提言がありました。

### ● 環境対策特別委員会

温暖化に対応した農林水産物の研究開発状況や中小河川の整備状況、有害鳥獣被害対策の状況、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換、流域下水道の接続率の目標などについて質疑及び提言がありました。

## 議会改革を推進します！

徳島県議会では、議会改革を継続的に推進するため、今任期に取り組むべき主要課題とその数値目標をまとめた議会改革行動計画(第3期)を策定しました。

### ○ 議会ICT化を推進します！

- ・情報通信環境及びタブレット端末の整備
- ・ペーパーレス会議システムの導入

### ○ 災害対応力を強化します！

- ・議会版 BCP(業務継続計画)の策定

### ○ 誰もが政治参加しやすい環境をつくりまします！

- ・議会の欠席理由として、育児や介護等を明文化
- ・授乳室や親子視聴スペースの設置
- ・点字版県議会だよりの発行 など



喜多議長(中央右)に結果報告書を提出する議会改革検討会議の岩佐座長(中央左)



また、議会年間日程の作成・公表、本会議質問要旨のホームページへの前日掲載などにより、さらなる県民サービスの向上を図ります。

## 議員提案による政策条例を制定しました

### 徳島県交通安全の推進に関する条例

近年、あおり運転等の危険な行為による交通事故が発生しており、県民の皆さまが様々な要因による交通事故の危険にさらされるおそれが高まっています。

この条例は、交通安全に関する基本理念や県の責務等の必要な事項を定めることにより、交通安全意識の高揚及び交通徳の向上を期し、県民の皆さまが安全で安心できる交通環境の確立を目指し、交通事故のない社会を実現することを目的としています。

皆さま一人一人が主体的に交通安全に取り組み、条例の趣旨が広がっていくよう、ご協力をお願いします。



喜多議長(中央左)に検討結果報告書を提出する政策条例検討会議の中山座長(中央右)



監査委員	特別委員会				委員名
	次世代育成・少子高齢化対策	防災対策	消費者・環境対策	地方創生対策	
大塚 明廣 北島 一人	立川 了大	福山 博史	原 徹臣	井下 泰憲	委員長
	杉本 直樹	古川 広志	山西 国朗	高井 美穂	副委員長
	達南 須見 良恒 一仁 子生	長池 文武	山田 豊	岡丸 正史	委員
庄野 昌彦	元木 章生	梶原 一哉	白木 春夫		
	東条 恭子	黒崎 義章	吉田 益子	大塚 明廣	

議会運営	委員会
岩丸 正史	委員長
黒崎 章	副委員長
白木 春夫	委員
長池 文武	
仁木 啓人	

県土整備	文教厚生	経済	総務	委員会
岩佐 義弘	須見 一仁	南 恒生	中山 俊雄	委員長
梶原 一哉	増富 義明	喜多 宏忠	浪越 憲一	副委員長
仁木 啓人	古川 広志	達田 良子	立川 了大	委員
元木 章生	扶川 敦	北島 理人	福山 博史	
白木 春夫	山田 豊	岡田 昌彦	高井 美穂	
	岡丸 正史	庄野 昌彦	岩丸 正史	
	嘉見 博之	西沢 貴朗	長池 文武	

徳島県議会の構成		
議長	寺井 正遼	副議長
副議長	岡田 理絵	

各委員会の構成と各会派の役員構成が決まりました。  
(令和二年三月十一日現在)

### 県議会の見学者等

申込方法等はこちら▶



- 津田小学校(徳島市)
- 伊座利小学校(美波町)
- 大津西小学校(鳴門市)
- 西井川小学校(三好市)
- 徳島市老人クラブ連合会
- 新町小学校(徳島市)
- 桑野小学校(阿南市)
- 大日本書芸院徳島地区連合
- 小松島小学校(小松島市)

### 議会日程

※日程は予定であり、変更する場合があります。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「本会議の傍聴」及び「委員会の視聴」はご遠慮ください。

令和2年6月6日

- 6月10日 …… 常任委員会
- 6月11,12日 …… 特別委員会
- 6月15日 …… 本会議(開会)
- 6月18日 …… 本会議(代表質問)
- 6月19日 …… 本会議(一般質問)
- 6月23~26日 …… 常任委員会
- 6月29,30日 …… 特別委員会
- 7月6日 …… 本会議(閉会)

「とくしま県議会だより」は、今号からリニューアルし、新聞折り込みでお届けします。市役所、町村役場、または県の総合県民局、各庁舎、県庁ふれあいセンター、県議会議務局でもお渡ししています。

護民官	公明党 県議団	日本共産党	新しい県政を創る会	新風とくしま	徳島県議会自由民主党	会派名
	古川 広志 会長	山田 豊 会長	吉田 益子 副会長 長池 文武 会長	庄野 昌彦 副会長 白木 春夫 会長	喜多 宏忠 岡丸 正史 西沢 貴朗 副会長 杉本 直樹 会長代行 嘉見 博之 会長	正副会長
	梶原 一哉 幹事長	達田 良子 幹事長	仁木 啓人 幹事長	黒崎 章 幹事長	山田 国朗 井川 龍二 岡田 佑樹 岩丸 正史 重清 佳之 幹事長等	幹事長等
扶川 敦			東条 恭子	高井 美穂	元木 章生 北島 理人 寺井 正遼 増富 義明 中田 俊雄 福山 博史 岡田 理絵 須見 一仁 原 徹臣	委員
1名	2名	2名	4名	4名	25名	人員

### 徳島県議議会会派の構成